



日本共産党 高知県議会活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸の内 1-2-20 2021. 7. 11
 自 宅 872-9324 高知市福井町1475-3 NO. 694

「県議会 日本共産党 代表質問より」

業者・学生支援さらに

高知県議会 塚地議員が提起

日本共産党の塚地佐智高知県議は6月29日、県議会代表質問に立ち、新型コロナウイルス対策などをたずねた。塚地氏は、「小規模・零細業者は、コロナ禍以前からぎりぎりの状態で経営を続けているところが多い。給付金、協力の基準となるような売り上げ50%減、30%減には届かず制度は利用できないが、事業を継続できるかどうかの厳しい状況に置かれている」と指摘。「売り上げ30%減未満の事業者への支援策を新たに考えるべきだ」と求めました。

松岡孝和商工労働部長は、「県の既存の融資制度について、償還期間や据置期間の延長を行う。また新規の貸付金については、償還額を徐々に増やしていけるステップアップ償還の制度についても取り入れる」と答えました。塚地氏は「学生への食料支援は、県としての『公助』の取り組みがなされないまま、1年以上にわたってボランティアによる『共助』が続けられているのが現状」とのべ、県として学生への食料支援に取り組むことを求めました。

浜田省司知事は、「二一スが高まるような状況が確認できたら、必要な取り組みを検討する」などの答弁に終始しました。

塚地氏は「二一スはずっとある」とのべ、大学とも相談し、予算化をして食料支援のスキームをつくるよう求めました。

(市旗さんより提供)

無料法律相談のご案内

7月21日 18時～
 日本共産党 旭事務所にて

南拓人弁護士・下本市議・中根が
 つかかいます。お気軽にご予約ください。
 090-6280-3860 (中根まで)



てくてく歩記

わたしの
 セツア日がすぎました。
 あいづち豪雨の報道番組
 ニュースを見たいに社会の
 おり方を考えさせられます。
 人間に都合のいい開きも、
 ちやうど、ちやうど、
 必要ですわね。
 我が家では、スイカが
 コロコロ、ころころはじ
 ました。小さなスイカが、
 草の間に、草の上にも、
 あります。

「ジェンダー平等の流れの中で 生理の貧困、問題解消を」

「世界月経衛生デー」をご存知ですか。国連では、5月28日をその日と定めて、●生理用品の購入量不足、●月経性・健康についての教育の欠如、●生理にまつわる羞恥心、負の烙印やタブーの3つの要素を「生理の貧困」として解消をめざしています。

この世界の流れが、コロナ禍の中で日本でも注目されるようになり、政府は法で定める交付金を提示。高知県も、1500万円の予算を6月議会に提案しました。社会福祉協議会に委託し、市町村役場や、市社協、学校などを通して、必要な人に手わたるようになります。そして日本共産党は、貧困対策としてだけでなく、ジェンダー平等の立場で、トイレ・トイレパーカーがあると同じ感覚で、生理用品が女性用・多目的トイレにおかれることを願っています。

果たせば各市町村でもとっかかりはありました。まだ一歩ですが、スピードアップが必要です。提供する生理用品は、今回の予算内では、約13000パック(約26万枚)とされています。